

どのスマホで最もテストされた？
クラウド型検証サービス「Remote TestKit」のデータからみる
2018年度上半期検証用スマホ利用ランキングを発表
～発表から2年経過した旧機種・旧OSバージョンも人気トップ10入り～

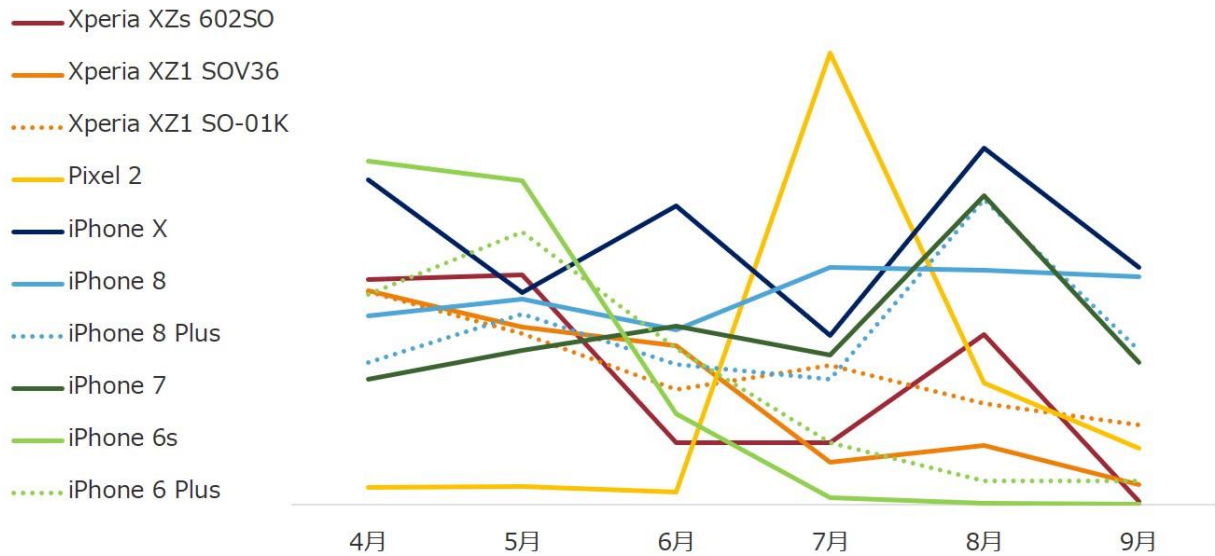
NTTレゾナント株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：若井 昌宏、以下、NTTレゾナント)は、クラウド型検証サービス「Remote TestKit(リモートテストキット)」(以下、Remote TestKit)におけるスマートフォンの利用動向から「2018年度上半期検証用スマホ機種・OS別利用ランキング」を発表します。

1. 検証用スマホ機種別利用ランキング (集計期間:2018年4月1日～2018年9月30日)

「Remote TestKit」で利用可能な500機種以上の端末を、利用時間をもとにランキング^(*)にしました。

	機種名	発売開始時期	スコア
1	iPhone X	2017年11月	100.0
2	iPhone 8	2017年9月	79.4
3	iPhone 7	2016年9月	66.3
4	iPhone 8 Plus	2017年9月	66.1
5	Xperia XZ1 SO-01K	2017年11月	51.1
6	iPhone 6s	2015年9月	47.9
7	Xperia XZs 602SO	2017年5月	47.0
8	iPhone 6 Plus	2014年9月	46.8
9	Pixel 2	2017年10月	42.4
10	Xperia XZ1 SOV36	2017年11月	42.0

2018年度上半期 検証用スマホ機種別利用ランキング(総利用時間)



2018年度上半期 検証用スマホ機種別利用ランキング(月別推移)

(1) iPhone Xが首位。トップ10のうち6機種がiPhoneシリーズ

検証用スマホ機種別利用ランキングの1位は、iPhoneの最新機種(2018年9月時点)の「iPhone X」でした。さらにランキングのトップ10にiPhoneシリーズが6機種ランクイン。「iPhone 6s」や「iPhone 6 Plus」など、3年以上前に発売された機種もランクインしていることから、iPhoneシリーズの根強い人気を読み取れました。

(2) 6月に「Android 9」に先行対応したPixel 2がトップ10入り

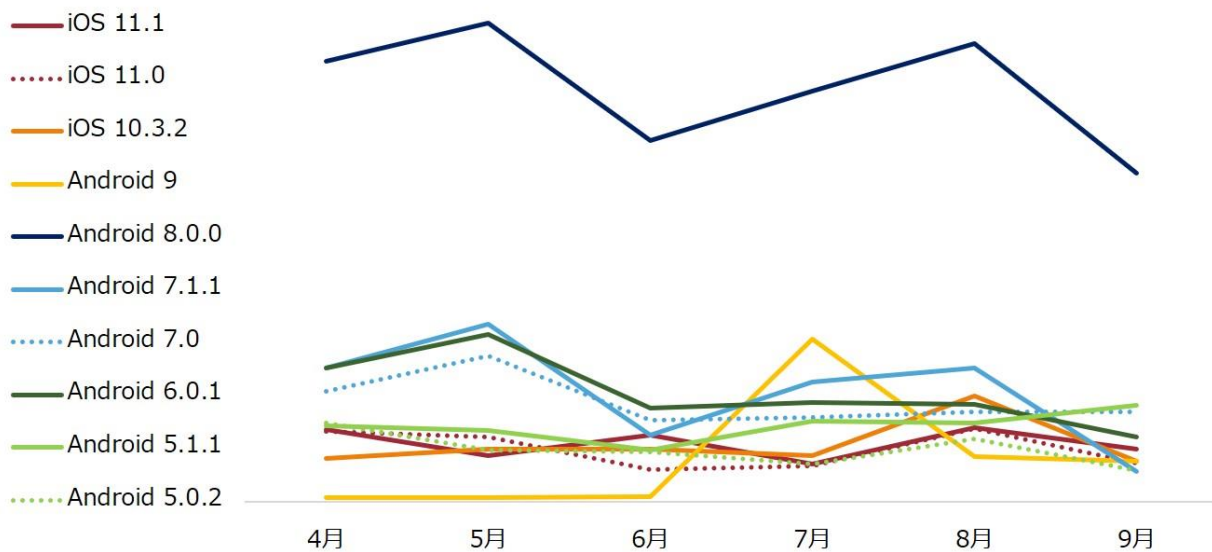
iPhone以外では、Xperiaの最新機種の3機種がトップ10入りしているなか、9位には日本未発売の「Pixel 2」がランクイン。6月に「Remote TestKit」でGoogleの新OS「Android 9」に先行対応した全5機種の中の1つです。「Android 9」はリリース前に従来のOSから大幅に機能刷新することが予告されており、多くの企業が新OS環境下での自社アプリやWebサイトの動作確認の必要に迫られていました。その結果、6月のPixelシリーズの「Android 9 developers preview」版先行対応開始とともに、「Pixel 2」の利用時間が増加。7月には全機種の中で月間1位の利用時間を記録しました。

2. 検証用スマホOS別利用ランキング(集計期間:2018年4月1日~2018年9月30日)

「Remote TestKit」で利用可能な500機種以上の端末に搭載されているOSを、利用時間をもとにランキングにしました。

	OS	発表時期	スコア
1	Android 8.0.0	2017年8月	100.0
2	Android 7.1.1	2016年12月	26.6
3	Android 6.0.1	2015年12月	26.4
4	Android 7.0	2016年8月	24.2
5	Android 5.1.1	2015年4月	18.3
6	iOS 11.1	2017年10月	14.1
7	iOS 10.3.2	2017年5月	13.7
8	iOS 11.0	2017年9月	12.6
9	Android 5.0.2	2014年12月	12.5
10	Android 9	2018年8月	10.5

2018 年度上半期 検証用スマホ OS 別利用ランキング(総利用時間)



2018 年度上半期 検証用スマホ OS 別利用ランキング(月別推移)

(1) OS 別では Android が上位を独占

OS 別に利用時間を見ると、iPhone シリーズが人気だった機種別とは異なり、Android が上位を独占する結果となりました。特に、「Android 8.0.0」は 6 ヶ月連続でレンタル時間 1 位を記録しています。さらに、リリースから 3 年以上経過している Android 5 系の OS や、6 月から先行対応した「Android 9」も上半期の総利用時間上位にランク入りするなど、Android については新旧問わず幅広いバージョンでの動作確認が必要となっていることがわかりました。

一方 iOS は、Android とは異なり、比較的新しいバージョンの OS に利用が集中する傾向にありました。

3. まとめ

2018 年度上半期の「Remote TestKit」の利用傾向は、機種別では iPhone、OS 別では Android が人気上位を占めました。比較的新しい OS のバージョンでの検証需要が高い iPhone に対して Android は幅広い機種とバージョンでの検証が必要とされていることがうかがえます。

また、機種別・OS 別のいずれにおいても、発売・発表から数年経過した機種やバージョンが人気トップ 10 入りしているという共通点が見受けられました。スマートフォン向けサービスの開発・運用時には新旧幅広い機種や OS での検証が必要とされていると考えられます。

4. Remote TestKit について (<https://appkitbox.com/testkit/>)

「Remote TestKit」は、クラウド上にあるスマートフォン・タブレット実機を使って、アプリやサイトのテストが簡単に実施できるクラウド型検証サービスです。発売・発表から数年経過した旧機種・旧バージョンを含む幅広い機種や OS に対応した新旧 500 機種以上の実機を、PC からのリモート操作でテストを行うことができます。そのため、リリース前のテストやリリース後のお客様問い合わせの確認を効率的に行うことができ、サービス品質の向上や検証用の実機購入のコスト削減につながります。

また、Appium^{(*)2}を使った自動テストクラウドや複数端末の同時操作など、開発者を支援するさまざまな機能があり、検証担当者の負担を軽減します。

以上

【補足】

(*1) 1 位の総利用時間を 100 ポイントとして、2 位以下のポイントを相対的にスコアリングしています。

(*2) Appium

Appium とは、JS Foundation が提供する、モバイルアプリ・Web サイト向けに開発されたオープンソースのテスト自動化ツールです。

※記載されている会社名、サービス名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本件に関する問い合わせ先

NTT レゾナント株式会社 広報担当 佐藤、前西 ☎ 03-6703-6250 pr@nttr.co.jp